



尾張旭ロータリークラブ

Weekly

「例会は親睦なり、深めよう親睦！」

・会長 井田 武憲
 ・幹事 桜井 雅博
 ・会報 古橋 裕志
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : owariasahi@mtc.biglobe.ne.jp
 URL : http://www.owariasahi-rc.jp/

・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3

ふれあい、思いやり、そして握手

本日 第2037回 2012年12月 7日(金) No. 1927

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者: クラブフォーラム

点 鐘

卓話者: 西尾 輝久 君

ロータリーソング「君が代」・「奉仕の理想」

演 題: 「会員増強について」

前 回 第2036回 2012年11月30日(金) 記 録

- 斉 唱: 「日も風も星も」
- ゲスト: 版画講師 水野 アー様
- 出席者: 会員29名中18名出席 出席率62.07%
 前々回補正出席率は11月9日分93.10%



△ゲストスピーカーの水野 アー様(左)と高島 昇君様

- ①震災復興ボランティア: 古民家再生プロジェクト。
- ②宮城教育大学学生との意見交換会。
- ③仮設住宅への健康タオルの寄付、音楽教室見学。
- ④幼稚園見学、教育実習。の「百聞は一見にしかず」の発表内容でした。次に当クラブの森井君とご令嬢による地震発生直後からの支援活動内容や報告会があり、メディアでは伝えられていない内容もあり感銘を受けました。続いて、旭労災病院の薬剤師さんや、理学療法士さんからも、医療側立場での支援活動の経過が発表され、苦労さが伺えました。

約2時間の報告でしたが、それぞれの立場からの目線のちがった発表内容であり、今後物質的あるいは精神的支援をいかに持続していくか、また、今おかれている現実を風化させてはいけないことを痛感しました。

会長あいさつ 井田 武憲



11月18日(日)名古屋経営短期大学にて、KEIEITANボランティア隊活動報告会(尾張旭RC協賛)が開催されました。9月10日~13日の東日本災害復興ボランティア活動状況について

幹事報告

- ・11/17 KEIEITANボランティア隊活動報告会 於名古屋経営短期大学 文化ホール 井田会長、森井 晴生君、加藤 清久君、桜井幹事出席。
- ・11/17 地区米山奨学生・学友会研修会 金山駅集合 山田地区奨学委員出席。
- ・11/27 地区広報・雑誌委員長会議 於名鉄グランドホテル 古橋裕志委員長出席。

家族月間

	12月15日(土)	12月21日(金)	12月28日(金)	平成25年1月4日(金)
例会予定	14日(金) 振替年忘れ家族会 於ヒルトン名古屋 4F 櫻 点鐘 18:00	卓話担当者: プログラム委員会 卓話者: 尾張旭市役所 健康推進室 豊田 定史様 佐川 真彩様 演題: 「第5回健康都市連合大会の報告」	休会 (第6条第一節により)	休会 (第6条第一節により)
3分間スピーチ	—	西尾 輝久君	—	—

- ・11/28 尾張旭市商工会優良従業員表彰式 於商工会館 井田会長出席。
- ・11/28 地区米山奨学委員会 於ガバナー事務所分室 山田地区米山奨学委員出席。
- ・本日の会合：なし
- ・次回の会合：第9回理事役員会
- ・例会変更のお知らせ：別紙。

委 嘱 状



△地区より「ロータリー米山記念奨学生選考面接官」の委嘱状をいただく山田 直樹君(右)

バナー交換



△舟橋 龍秀君の神戸西RCバナー



△古橋エツ子君の大阪東RCバナー

ニコボックス

- 本日は版画講師 水野ア一様よろしくお願ひいたします。3分間スピーチつたない話でごめんなさい。
井田 武憲君
- 卓話に水野様をお迎えして版画コーナーを開いていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。
高島 昇君
- 版画の実習を楽しみにしています。
森井 晴生君
- 水野ア一様、ようこそ。私も浮世絵版画に興味を持っており、大変楽しみにしています。
古橋 裕志君
- 水野ア一様の卓話を楽しみにしています。
浅野 善吉君、唐井 仁一君
桜井 雅博君、古橋エツ子君、山田 直樹君
- 美しい花を少し拝借しております。従業員が大変喜んでおります。
西尾 輝久君
- たまたまメイクアップしたクラブ(神戸西RC)でバナーをいただてきました。
舟橋 龍秀君
- 飯田先生、写真をありがとうございました。
古橋 裕志君
- お忙しの君 飯田 幸雄君、木村玄次郎君

卓 話

『版画を楽しむ』

(a) (ichi)

版画家 水野 ア一

尾張旭ロータリークラブ例会の卓話で“版画コーナー”を開かせて頂きます。限られた時間内で、最初からの版画製作は時間不足の



為、講話が中心ですので宜しくお願ひ致します。まず、版画とは何か、それは筆を彫刻刀に、絵具をインクにおき替えての創作活動だと思っております。それと、版画には三度の楽しさがあります。絵を描く喜び、版を彫る楽しさ、刷る面白さです。更に加えて自分の作品が複数出来るという魅力など、数え上げたらきりがありません。そんな魅力に取り付かれた私は、在職中は日曜版画家として、定年後は自称版画家として活動してまいりました。今まで活動を続けてきたことで、時々皆様からいろいろな行事に版画で参加させて頂く事が出来るようになり、大変嬉しく思っております。今後も版画の世界に真正面から向き合ってまいります。

さて、一口に版画と言っても様々ですが、日本古来の木版の代表的なものは浮世絵版画です。それに西欧から渡来した石版画、銅版画などいろいろな版画を見る事が出来ます。その技法は多種多様なものがあります。しかし、版画にはそれぞれの版式があり、その版式特有の法則があります。版画作品を作るにはその法則を守らねばなりません。その法則をうまく自分の作品の中に生かして独自の作品を作り上げることこそ、版画制作の醍醐味だと確信しております。

以上多くの言葉を書き連ねましたが、今回の“版画コーナー”を通して版画に対する興味を少しでも高めて頂ければ幸いです。



井田会長をはじめ全会員が実習しました。

今回卓話のために制作された版画です。



平成24年11月30日
尾張旭ロータリークラブ
版画体験記念